

事業名	第2期亀岡市総合戦略推進事業	地域再生計画の名称	企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画	
個別事業Ⅰ (事業担当課)	亀岡駅北公園整備事業 (まちづくり推進部 都市整備課)	事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額)	3,004,430円 (3,000,000円)	
事業取り組み内容	事業取り組み成果	事業実施写真等		
<p>亀岡駅北地区で整備した亀岡駅北1号及び2号公園(愛称:かめきたりバーサイドパーク)において、木と触れ合う機会を増やし、豊かな子育て環境を整えるとともに、公園を訪れた人が亀岡市の魅力溢れる山河の景観を望みながら、憩える空間となるよう、木製ベンチ及び木製テーブルベンチを設置した。</p> <p>・設置台数 ベンチ:23台 テーブルベンチ:3台</p>	<p>令和4年7月2日(土)に亀岡駅北1号公園にて亀岡駅北1号及び2号公園(愛称:かめきたりバーサイドパーク)並びに4号公園(愛称:かめきたプランコ公園)の竣工式が行われ、その式典において木製ベンチ及び木製テーブルベンチの初披露を行った。公園利用者からは「等間隔にベンチが置いてあり亀岡の原風景が楽しめる」等の感想を頂くなど、公園を訪れた誰もが目の前を流れる曽我谷川や、田園や山野の眺望の中憩える快適で魅力的な空間を創出した。</p>	<p>テーブルベンチ</p> 	<p>木製ベンチ</p> 	<p>公園全景</p> 
個別事業Ⅱ (事業担当課)	亀岡運動公園卓球台更新事業 (まちづくり推進部 都市整備課)	事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額)	4,880,381円 (1,000,000円)	
事業取り組み内容	事業取り組み成果	事業実施写真等		
<p>亀岡運動公園は、本市のスポーツに触れ合えるフィールドとして、市内外から多くの方々にご利用いただいている。「第5次亀岡市総合計画」の重点テーマとして掲げる「スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」の達成に向けた取り組みのひとつとして、亀岡運動公園で利用されている、老朽化・経年劣化が目立つ卓球台を更新した。</p> <p>・更新台数:29台</p>	<p>令和5年3月12日に新卓球台披露式および第35回亀岡オープン卓球大会が開催された。更新した卓球台を使用し、出場選手は熱戦を繰り広げ、大会主催者から感謝のお言葉をいただいた。今後は、女子プロ卓球チーム「京都カグヤライズ」が参戦するリーグの開催も予定されており、亀岡運動公園の利用者のサービス向上と、更なる施設利用者の増加の期待される環境整備の充実を図った。</p>	<p>卓球台</p> 		
個別事業Ⅲ (事業担当課)	かめおかこども木育ひろば事業 (こども未来部 子育て支援課)	事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額)	99,999,900円 (30,000,000円)	
事業取り組み内容	事業取り組み成果	事業実施写真等		
<p>亀岡市の進める「ウッドスタート宣言」による、暮らしの中に木を取り入れた子育て・子育て環境充実に向け、サンガスタジアムby KYOCERA内に全天候型屋内遊び場、木育ひろば(KIRI no KO)を整備した。</p>	<p>亀岡市を象徴する山や霧、保津川など、亀岡らしさをモチーフにした遊びの場を新たに整備することで、未来を担う子どもたちを通じた、「子育てにやさしいまちづくり」、「環境先進都市づくり」、「活力のあるにぎわいのまちづくり」を核とした三位一体の事業の推進に寄与し、好循環から生み出される相乗効果の一翼を担うことが期待される。</p>	<p>木育ひろば(KIRI no KO)</p> 	<p>木育ひろば(山に囲まれた地形)</p> 	<p>木育ひろば(湯の花温泉)</p> 

事業名		第2期亀岡市総合戦略推進事業			地域再生計画の名称		企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画				
個別事業Ⅳ (事業担当課)		京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業 (生涯学習部 生涯スポーツ課)			事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額)		1,394,330円 (1,300,000円)				
事業取り組み内容		事業取り組み成果			事業実施写真等						
<p>多くの市民に、京都サンガF.C.のホームスタジアムがあるわがまちを誇りとして感じていただくため、「シビックプライド醸成プロジェクト」と題し、市内の小中学校の児童を対象にサンガスタジアムby KYOCERAを体験してもらうスタジアムツアーを実施した。</p> <p>昨年度の実施では1校のみの実施であったが、今年度より全校18校の小中学校を対象に取り組んだ。</p> <p>参加人数 1,240名 (各校最大2学年) 実施日数 8日間</p> <p>～実施内容～ スタジアム体験(スタジアムツアー) ピッチ体験 スタンドで昼食(希望制)</p>		<p>スタジアムを体験してもらったスタジアムツアーでは、スタジアムの大きさや収容人数など、実際にスタジアムの広さを肌で感じながら学ぶことで、わがまちにあるスタジアムへの愛着や誇りに繋がる取組となった。</p> <p>またピッチ体験では、実際に選手がプレーをするピッチに立ち、選手と同じ目線からスタンドを見渡す体験をはじめ、京都サンガF.C.のスタッフが各クラスの担当となり、生徒と一緒に軽い運動に取り組み、生徒達の興味や関心をさらに高めることができた。</p> <p>プログラム終了後、参加生徒に「スタジアムにまた来てみたいか」を尋ねると、ほとんどの生徒が元気いっぱいの挙手をしていた姿が印象的であり、サンガやスタジアムを身近に感じてもらえる機会の創出ができた。</p>									
●第2期亀岡市総合戦略推進事業											
ア 子育てしたい、住み続けたいまちづくり事業 (個別事業Ⅰ、Ⅲ)						イ スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちづくり事業 (個別事業Ⅱ、Ⅳ)					
重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価											
KPI①	指標値(R5.3)	達成/不達成	KPI②	指標値(R5.3)	達成/不達成	KPI③	指標値(R5.3)	達成/不達成	KPI④	指標値(R5.3)	達成/不達成
待機児童数	43人	未達成	移住相談窓口を利用した年間移住者数	34組	未達成	年間観光入込客	2,131,510人	達成	年間観光消費額	34.6億円	達成
	実績値(R5.3)			実績値(R5.3)			実績値(R5.3)				
	186人			26組			2,320,370人			63.8億円	
評価・意見 記入欄	<p>【地方創生に効果があった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税については様々な形で活用できるのではないかと考える。 ・今後は全国都市緑化フェアに向けた事業も推進されると聞いている。景観や自然を重視し、芯とした取り組みを進めるのも良い。スポーツを核としたまちづくりとして、個別事業④の京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業は1,240名もの子どもたちがスタジアムを体感できるという事業もされている。例えば、市内にプロ卓球チームが来るのであれば、彼らが卓球を子どもたちに教えるなど、何かに対して子どもたちや大学生を取り入れることは、子育て世代に対し訴求効果があると思う。亀岡市は子育てに最善の環境だとPRし、様々な施策を展開できれば、5年後、10年後に移住という成果が見えてくると思う。 										